

三

50 電報

聯合國最高指揮官宛

三行

昭和二十九年九月二十八日  
大本營陸軍部

北緯三〇度以南與論島(含)以北諸島ニ在ル部隊現地交渉件  
G.H.Q.A. 第二號 (九月二日)

北緯三〇度以南與論島(含)以北諸島ニ在ル帝國陸軍  
部隊ト聯合軍指揮官ト現地交渉ハ上記部隊ノ交通通  
信能力不足ノ現況ニ鑑ミ德之島ニ在沖繩米第十軍司  
令官ノ代表者ヲ派遣セラルルカ又ハ帝國軍代表ヲ沖繩  
ニ派遣スル為飛行機又ハ船舶ヲ準備セラレ度  
尚沖繩郡島及先島郡島ニ在ル帝國陸軍部隊ノ現  
地交渉ハ在先島郡島  
中將ヲシテ在沖繩米第十  
軍司令官ト直接實施セシム

(裏)

合衆國軍代表「スミス」海軍大佐ノ行動抗議ノ件

G. H. Q. A 第三號 (九月二日)

停戰ヲ關スル小笠原郡島方面現地交渉ニ於テ合衆國軍代表「スミス」海軍大佐ハ軍事ニ關係ナキ民間施設私有財産ノ沒收日本臣民ノ抑留ヲ要求シ、ル王右ハ一般命令第一號ノ趣旨ニ合セザルヲ以テ更ニ檢討スルニ知ク、現地指揮官指導セラレ度

大本營幕僚ヲ外地軍ニ派遣スル件

G. H. Q. A 號外 (九月二日)

降伏命令ヲ遠隔地ニ在ル外地軍ニ對シ迅速ニ傳達致度ニ付別紙計畫ノ實行ニ關シ便宜能與相成度

御同意ヲ得バ行動ノ細部ニ關シ別途御願ヒス  
 ル等尚在比島 [redacted] 大將ノ幕僚ヲ我方大本營  
 僚ノマニラ到着迄ニ同地ニ招致スルコトニ關シ  
 テモ配慮セラレ度

(終)